

2024_0426「飛び立つムササビ（スローモーション動画）」日々の理科 3550号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

巣箱の中にいるときにムササビの動きは緩慢です。特に昼はほとんど動かずに爆睡していることが多いです。しかし、巣の外に出ると行動は非常に機敏になります。後ろあしで巣箱口を蹴り、素早く飛膜を広げて、となりの木の幹にパッと飛び移ります。その間1秒もかかりません。となりの木に着地（着樹）したあとも、すごいスピードで木を登り、あっという間に見えなくなります。その後幹の高い場所から、さらに遠くへ飛翔するのです。

従来のネットワークカメラの性能では、その飛翔の一瞬をとらえることは困難でした。しかし最新のネットワークカメラでは、画角だけでなく、明るさ、シャッタースピード、暗視野での画質など、非常に細かい設定を遠隔で操作することができます。いろいろ試した結果、飛ぶ一瞬をスロー再生すると、飛膜を広げて、となりの木の幹に飛び移る様子がよくわかりました。映像では手前の木の幹は近く見えますが、実際は10メートルぐらい離れています。ムササビの子の巣立ちの一瞬も楽しみです。

(2024年4月下旬／北軽井沢／遠隔観測)

